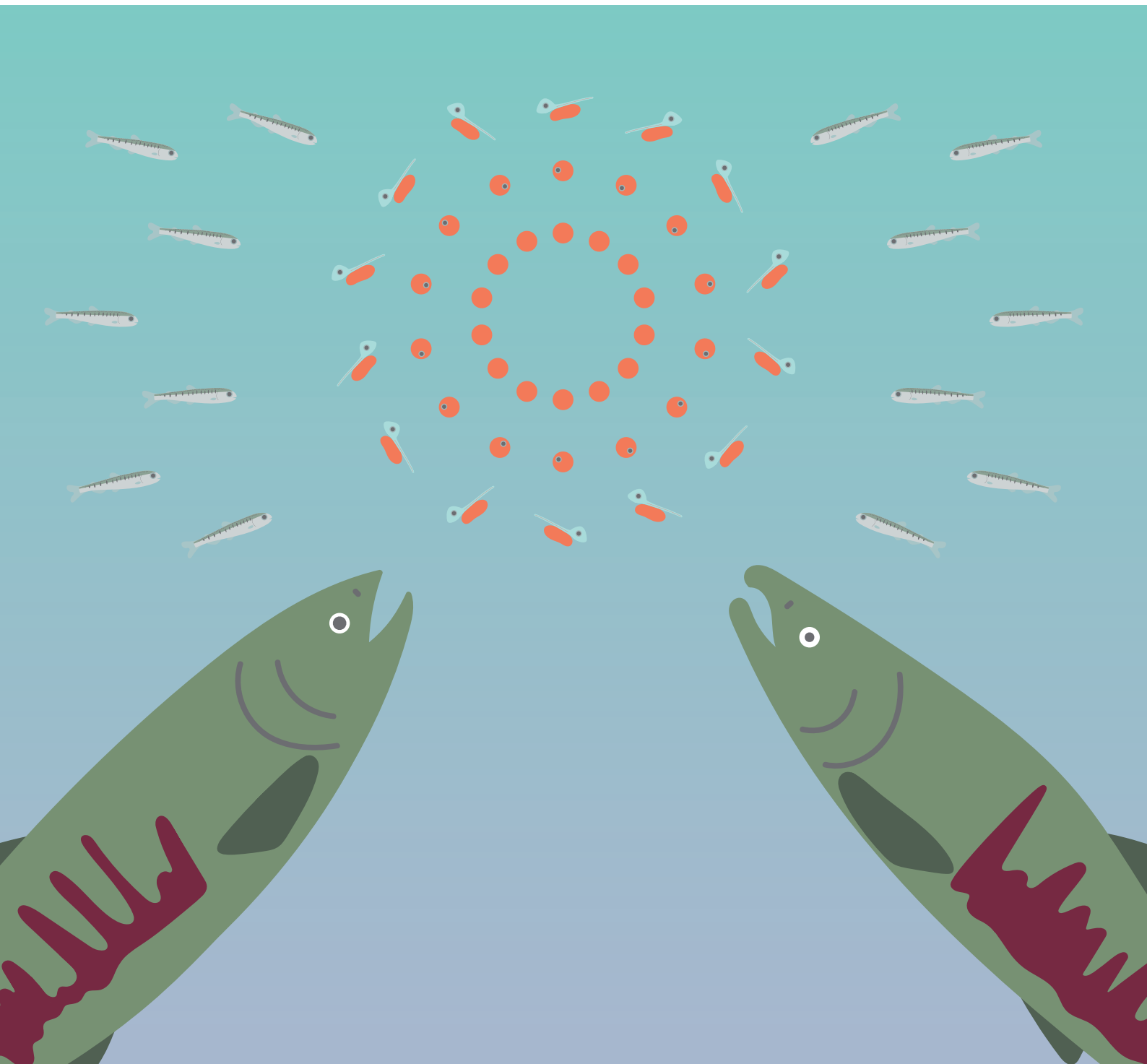


Fish Way

no.17
2023
AUTUMN

NPO法人 北海道魚道研究会 会報



特集

通常総会開催

日高地区・道央地区・道南地区

魚道清掃実施



自然をみつめ、命をつなぐ。

Hokkaido fishway research meeting



NPO法人 北海道魚道研究会

設立趣意書

「戦争の世紀」とも言われ産業革新、技術革新が急激なスピードで展開された 20 世紀が過ぎ去り、現在、我々が生きている 21 世紀は「環境の世紀」と言われています。日本の都道府県の中で自然が残っているといわれる北海道においても、つい 30～40 年ほど前まで豊かだった自然は、人々の生活が向上することと反比例するように失われてきています。

私達は、社会・生活環境の整備と自然環境の調和を念頭に置き、これまで携わってきた河川を中心とした構造物の設計や施工の経験を踏まえ、河川環境の保全と回復のための活動を通じ、「環境の世紀」の社会のあり方を考えていこうと思っております。

私達は、この活動のベースを「魚道」に置き、魚道から提起される種々の課題「河川生物の生態」、「周辺環境」、「構造物の設計・改良」、「維持管理」などを通して活動目的である「河川環境の保全と回復」を図ることとしております。

また、目的達成のためには、一部の技術者だけでなく、地域住民、河川を利活用する関係者など多くの方々とともに意見交換し、行動していくことが必要だと考えております。

そのために、今般、「特定非営利活動法人 北海道魚道研究会」を設立し、自然と人間の調和のとれた心豊かな地域社会づくりを目指すものであります。

目 的

魚の心がわかる魚道づくりをテーマに魚道についての研究・啓蒙・ボランティアによる維持管理を行い、自然環境の回復に寄与する。

特定非営利活動

- (1) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 子どもの健全育成を図る活動
- (4) 科学技術の振興を図る活動
- (5) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

特定非営利活動に係る事業

- (1) 河川環境の保全・回復を図る事業
- (2) 魚道に関する研究及び技術の開発・振興に関する事業
- (3) 魚道の維持管理に関わる事業
- (4) 河川に生息する水棲生物の調査・研究に関わる事業



会報誌が新しくなりました

NPO法人 北海道魚道研究会

理事長 **奈良 哲男**

平成 17（2005）年、会の前身である「道南魚道研究会」が発足してから 19 年目となり、来年は 20 周年の年となります。改めて、会員の皆様のご理解とご協力に感謝を申し上げます。また、会が掲げる魚道に関する研究や維持管理にかかわる事業には、河川管理に関する関係部署との連携は不可欠なものです。会の発足当初から、たくさんの関係部署の皆様にご理解とご協力をいただいております。誠にありがとうございます。今後も関係部署の皆様と協働しながら、河川環境維持、保全活動を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

会報誌が新しくなりました。活発な会員活動になるべく早く、広くお知らせするために、年 1 回の発刊を年 2 回としました。全道各地の会員はもとより、関係部署の皆様、さらには広く道内の市民の皆様にも会員の活動を知っていただくことが、河川環境保全へつながっていった、さらに貢献していきたいと願っております。

刷新した会報誌もいろいろと試行錯誤しながら、そして会員の皆様のご意見も頂戴しながら、どんどん内容を充実させてまいりたいと思っております。これからもよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

- 02 令和 5 年度通常総会開催報告
研究会活動の活性化と、新役員体制決まる
- 04 令和 5 年度意見交換会開催報告
通常総会后、にぎやかに意見交換会開催
- 06 **活動報告 1** 第 13 回日高地区魚道清掃ボランティアを実施しました
- 09 **活動報告 2** 道央地区魚道清掃ボランティアとワークショップ開催
- 12 **ワークショップ** 「魚道を清掃しないためにはどうする？」
- 15 **活動報告 3** 川童（かわガキ）育成！ 川の生き物勉強会を開催しました
- 20 **活動報告 4** 道南地区魚道清掃ボランティアを実施しました
- 24 NPO 法人 北海道魚道研究会 会員名簿
- 26 当会では、会員を募集しています！

研究会活動の活性化と、 新役員体制決まる



令和5年6月8日(木) 午後4時から、函館市の花びしホテルにて令和5年度通常総会が開催されました。

戸沼初代理事長に黙祷をささげる

通常総会は会員総数99名のうち出席者34名、署名委任44名の計78名で、会議の成立が確認されました。

総会に先立ち、去る令和5年1月5日にご逝去された初代理事長、戸沼平八様のご冥福をお祈りし、全出席者で黙祷をささげました。奈良理事長の開会の挨拶では、設立当初の意志を受け継いで会を運営していく決意と、北海道全体の河川環境改善をあらゆる関係者とともに協働で取り組んでいく考え方を考慮し、会員の協力と理解を求めることが述べられました。

【審議事項】

- 議案第1号 令和4年度事業報告
- 議案第2号 令和4年度収支決算報告
- 議案第3号 監査報告
- 議案第4号 令和5年度事業計画(案)
- 議案第5号 令和5年度収支予算(案)
- 議案第6号 任期満了に伴う役員の選任について



開会挨拶(奈良理事長)



司会(渡邊事務局)



会計報告(松本事務局)



監査報告(今川監事)

【第1号議案】

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

特定非営利活動法人 北海道魚道研究会

1. 事業の成果

会員数は令和5年3月現在、法人会員80社、個人会員19名となっております。

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止になった令和2年7月のサリダム竣工記念講演会を令和4年7月、
名寄市にて現地見学会と合わせ2日間に渡って開催いたしました。コロナ禍で感染対策をしながら、
3年ぶりとなる魚道清掃ボランティアや河川環境教育「川の生き物勉強会」を実施しました。

使いやすい魚道データベースシステムの改良構築に関しては、運用できる段階となったことを報告いた
します。

2. 事業の実施に関する事項

1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	A 当該事業の実施日 B 当該事業の実施場所 C 従事者の人数	D 受益対象者の範囲 E 人数	備 考
(1) 河川環境の保 全・回復を図る事業	【カワガキ育成！川の生き物勉強会】 河川に生息している水棲生物の学習と 周辺地域の自然観察会	A 8月7日 B 函館市川汲川 C 6名	D 児童と親 E 35名	
(2) 魚道に関する研 究および技術の開 発・振興に関する事 業	【魚道のゲート・構架】 ・北海道内に設置された魚道情報のデ ータベース化の作業 ・webを利用したGISを利用したデー タベースシステムの構築と管理 ・魚道管理技術の開発と管理者との協 働への取り組み研究 ホームページ上のデータベースシ ステム運用の維持管理及び更新	A 1回84年4月26日 2回84年9月29日 3回84年12月8日 B 1回目 web 2回目 web 3回目札幌市・デンパレス C 1回目3名 2回目3名 3回目3名	D 会員、会員企業 職員 E 1回目10名 2回目7名 3回目8名	
(3) 魚道の維持管理 に関わる事業	【魚道清掃ボランティア】 魚道機能が低下している箇所での清掃活 動	A 日高地区7月21日 道南地区7月24日 道南地区9月8日 豪雨 災害のため中止 B 日高地区 新阿賀清 水がキアツ川 道央地区 札幌市 左股川、豊後川魚道 C 日高地区10名 道央地区15名 D 令和5年2月15日 B 札幌市 C 3名	D 会員、行政職 員、一般市民 E 日高地区33名 道央地区61名	
(4) 河川に生息する 水棲生物の調査・研 究に関わる事業	【定期講演会】 テーマ：流域で取り組む魚類移動環境 の保全と改善 ～講師～ 日本大学理工学部 教授 安田陽一 流域生態研究所 所長 妹尾優二 旭川開建 名寄河川事務所 特定治水事業対策官 岡田幸七 【魚道見学】2日目 サリダムと周辺魚道見学	A 令和4年7月27、28日 B 名寄市グランドホテル藤 花 C 12名	D 会員、行政職 員、一般市民 E 88名	

2) その他の事業

「北海道魚道研究会(第16号)」発行700部 85.3月 発行

【第4号議案】

令和5年度 事業計画書(案)

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

特定非営利活動法人 北海道魚道研究会

河川中の人口構造物(堰堤、砂防ダム等)に設置されている魚道の効果の有無は、その河川
の水棲生物の生態・生態に影響を与えるのみならず、河川周辺域の生物の多様性ひいては環境
にも影響を及ぼすと考えられます。こうした認識のもと、以下の活動方針に沿って事業を実施
することで河川環境の保全と回復並びに地域振興に寄与します。

事業の実施に関する事項

1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	A 当該事業の実施日 B 当該事業の実施場所 C 従事者の人数	D 受益対象者の範囲 E 人数	備 考
(1) 河川環境の保 全・回復を図る事業	【カワガキ育成！川の生き物勉強会】 河川に生息している水棲生物の学習と 周辺地域の自然観察会	A 85年8月6日 B 函館市川汲川 C 6名	D 児童と親 E 40名	
(2) 魚道に関する研 究および技術の開 発・振興に関する事 業	【魚道のゲート・構架】 ・北海道内に設置された魚道の位置・ 構造・状況等の調査、データベース化 ・魚道データベースGISシステム構築 ・ホームページの維持管理及び更新	A 1回85年5月中旬 2回85年9月中旬 3回86年1月下旬 B 1回目 web 2回目 web 3回目札幌市 C 1回目3名 2回目3名 3回目3名	D 会員、会員企業 職員 E 1回目15名 2回目15名 3回目15名	
(3) 魚道の維持管理 に関わる事業	【魚道清掃ボランティア】 魚道機能が低下している箇所の清掃活 動	A 日高地区7月 道央地区7月 道南地区7月 道南地区3地区 C 各地区10名	D 会員、行政職員、 一般市民 E 日高地区30名 道央地区60名 道南地区60名	
	【魚道管理者との情報交換会】 管理者から、魚道事業の推移、ペト ル・維持管理の状況説明 当会から、DBの構築状況と課題、次 年度の事業計画を説明	A 令和6年2月 B 札幌市 C 3名	D 魚道管理者 E 37名	
(4) 河川に生息する 水棲生物の調査・研 究に関わる事業	【定期講演会】 テーマ：サカと河川のかかわり(案) 講師：北海道立総合研究機構さけま す・内水面水産試験場 主幹 土部浩一 講師：斜里川を考える会 斜里町水産林務課 森 高志	A 令和5年10月6日 B ANAクラウンプラザ ホテル札幌 C 12名	D 会員、行政職員、 一般市民 E 200名	

2) その他の事業

「北海道魚道研究会(第17号・第18号)」発行700部 年2回 発行調整

議案第1号令和4年度事業報告及び議案第4号令和5年度事業計画(案)

第6号議案

令和5・6年度 役員名簿

特定非営利活動法人 北海道魚道研究会

役名	氏 名	所 属	報酬の有無	備 考
理事	奈良 哲男	(株)エジソンブレイン	無	重任
〃	岸 本 真一	岸本産業(株)	〃	重任
〃	中 塚 卓朗	中塚建設(株)	〃	重任
〃	橋 本 真一	(株)北海道技術コンサルタント	〃	重任
〃	柏 谷 匡風	横関建設工業(株)	〃	重任
〃	三 宅 正浩	山洋建設(株)	〃	重任
〃	梶 村 司	梶村建設(株)	〃	重任
〃	小林 誠二	(株)小林建設	〃	重任
〃	布 村 重樹	(株)ノース技研	〃	重任
〃	戸 沼 淳	戸沼岩崎建設(株)	〃	重任
〃	中 島 克彦	北王コンサルタント(株)	〃	重任
〃	前 田 克史	倉澤高圧コンクリート(株)	〃	重任
〃	田 中 努	野外科学(株)	〃	重任
〃	小 山 重芳	(株)日興ジオテック	〃	重任
〃	千 葉 和夫	北海道農林土木コンサルタント(株)	〃	新任
〃	熊 谷 操	防災地質工業(株)	〃	新任
監事	滝 野 修平	パブリックコンサルタント(株)	無	重任
〃	今 川 亮司	防災地質工業(株)	〃	重任

新役員決定後の理事会において理事長・副理事長が決定しました。

理事長 奈良 哲男
副理事長 岸 本 真一
副理事長 中 塚 卓朗
副理事長(新任) 戸 沼 淳

新役員名簿



理事会役員選出



(左から)
戸沼新副理事長、千葉新理事、熊谷新理事

通常総会后、にぎやかに意見交換会開催



令和5年6月8日(木)の通常総会后、
恒例の意見交換会が開催されました。

祝杯をあげる会員の皆さんと祝杯の挨拶をする岸本副理事長





(左から) 戸沼新副理事長・千葉新理事・熊谷新理事の挨拶、三好氏の近況報告



(左から) 事務局渡邊・松本・佐藤、中塚副理事長の中締めの挨拶

第13回日高地区魚道 清掃ボランティアを実施しました

令和5年7月19日(水)午後1時から、
新冠郡新冠町字岩清水・ポキアップ川の谷止工魚道の
清掃ボランティア活動を行いました。



参加者 38 名で清掃活動

当日は活動に当たって、一般社団法人北海道
森林土木建設業協会会長兼日高支部長であり、
当会の幌村理事より、準備に当たっていただい
た日高振興局林務課の皆さんへのお礼と、参加
者の皆様への感謝、さらに「魚道はその地域、
この場所の生態系を維持するために欠かせない

施設であり、魚道の効果を発揮するためには定
期的な維持管理が大切なことだと考えます。こ
の清掃ボランティアは継続してまいりたいと考
えております」という挨拶があり、早速、清掃
活動に入りました。

北 森 建 日 高 支 部
令和 5 年 7 月 3 日

北森建会員各位

北森建日高支部長 幌 村 司

令和5年度魚道清掃ボランティアの実施について

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃より当支部の活動に対し、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、当支部活動の一環として行っております「魚道清掃ボランティア」を下記のとおり実施しますので、参加方ご案内いたします。
なお負担軽減のため各社の参加者は2名以内としますので、よろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 令和5年7月19日(水)現地 午後1時～午後3時30分
(雨天決行、荒天・増水時中止 作業時間午後1時30分～午後3時00分)
2. 清掃場所 新冠郡新冠町字岩清水 ポキアップ川 谷止工魚道
3. 集合場所 **新冠町役場駐車場 午後12時30分までにお集まりください**
(点呼後、現地へ移動、移動約25分)
4. 持参用具 特長靴または胴付長靴
5. ヘルメット、雨具等(持ち物に名前記入願います)

日高地区魚道清掃ボランティア案内文







●第13回日高地区魚道清掃ボランティア参加者

No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名
1	(一社)北海道森林土木建設業協会 NPO法人 北海道魚道研究会	幌村 司	13	賀集志賀建設(株)	久保 敏夫	26	日高振興局	佐野弥栄子
2	(一社)北海道森林土木建設業協会	神馬 昭男	14	田湯タナカ建設(株)	藤井 正嗣	27	日高振興局林務課	土井 剛
3	NPO法人 北海道魚道研究会	奈良 哲男	15	(株)津田組	津田 一彦	28		廣澤 忠
4		佐藤 哲也	16	(株)出口組	種市 真広	29		中丸 淳平
5		梅木 優邦	17	(株)手塚組	三橋幸一朗	30		鐘下 敬介
6	(株)五十嵐工業	奥野 豊二	18	日新建設(株)	林 亮磨	31		三村 将範
7		紺野 良春	19	登建設工業(株)	登 孝志	32		黒沢 康太
8	池田建設(株)	山口 進	20	(株)平村建設	川奈野慎二	33		高田 雄成
9		坂本 翔基	21		保田 応志	34		小野 裕人
10	(株)磯田組	斎藤 哲也	22	幌村建設(株)	南 雅彦	35		小杉 海星
11	ケイセイマサキ建設(株)	正木 健太	23	(株)南組	成田 悟	36		千葉 洸暢
12	(株)小林組	中河原正巳	24	北森建日高支部	本間 正寿	37		西久保圭祐
			25	日高振興局	生田 泰	38		関本 伊吹

2

活動報告

道央地区魚道清掃ボランティアとワークショップ開催

令和5年7月23日(日)、午前9時30分に札幌市西区福井の
五天山公園臨時駐車場に集合し、盤溪川の魚道2基を
清掃するとともに、現地ワークショップを開催しました。



今後に向けて、新しい企画を導入

清掃ボランティア活動の実施に当たり、奈良理事長より、平成17年から北海道内3地区で魚道清掃ボランティアを継続して実施していること、道内には3,000基を超える魚道があり、推計で約600基が機能障害を起こしている可能性がある中で、清掃できる魚道は全体の中のほんのわずかであるが、遡上環境の改善とともに、社会に活動情報を継続的に

発信することで、河川環境保全への意識を高めることにつなげていくためにも大切な活動であるとの挨拶がありました。

また、今回は新たに今後の対策や今できる対策など、すぐに機能不全を起こさないための工夫や簡易な対応策について話し合う企画があること、その企画に対する期待についてもコメントがありました。その後、ラジオ体操を行って清掃活動を開始しました。

会員各位

令和5年7月吉日
特定非営利活動法人
北海道魚道研究会
理事長 奈良哲男

魚道清掃ボランティア活動の開催について

初夏を思わせる陽気になりました。
会員の皆様におかれましてはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。
さて、道央地区における第18回目の「魚道清掃ボランティア」並びにごみ拾いを下記の通り開催致しますので、ご参加をよろしくお願い致します。
今年は、「清掃しないためにはどうするか？」について現地ワークショップを行います。また、昼食を食べながら懇親会を行います。

記

日時： 令和5年7月23日(日曜日) 9:30 集合
9:30~9:45 あいさつ・内容説明・ラジオ体操等
9:45~12:00 現地移動・現地ワークショップ・魚道清掃/ごみ拾い
12:00~12:30 作業終了・集合場所移動
12:30~14:00 懇親会(お弁当をご用意します)

集合場所：札幌市西区福井 五天山公園臨時駐車場(札幌方面から来ると左側の駐車場)

清掃箇所：盤溪川の魚道2基

持ちもの：胸付き、手袋、スコップ、火ばさみ(ごみ拾いの方)

参加申込み：Google フォーム： <https://forms.gle/YATcc8SgQ2Jb6y6>
Mail: watanabe@dogi.co.jp
FAX: 011-753-4824
会員名(所属)と氏名をお知らせください。

※参加申し込み期限は、7月14日(金曜日)
※清掃ボランティア参加者には、清掃終了後参加証明書(CPD単位2.5)を発行致します。
※雨天決行(雨天の場合は、現地ワークショップのみ開催します)

【問い合わせ先】
〒065-0043
札幌市東区南郷町4丁目2-8
株式会社 北海道技術コンサルタント 渡辺恵三
TEL: 011-753-5562, mail: watanabe@dogi.co.jp

道央地区魚道清掃ボランティアの案内文



札幌建設管理部事業室川端事業課長と進行役の渡邊(右)







●第13回道央地区魚道清掃ボランティア参加者

No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名
1	札幌建設管理部 事業室事業課	川端 茂敬	24	共和コンサルタント 株式会社	松本 幸士	46	株式会社北海道技術 コンサルタント	末岡 拓也
2		梶川 隆裕				47		神保 貴彦
3	道庁水産林務部治山課	畠山 誠	25	国土防災技術北海道 株式会社	高村 悟司	48		久富悠一朗
4		中村 信吾	26		岩井 政人	49		小見俊太郎
5		長野 菜穂	27		大和 謙太	50		南 穂香
6		柏葉 茂	28	株式会社サッポロ・ エンジニアーズ	後藤 聡夫	51		大野 一聖
7		田中 勝人	29		野沢 哲哉	52	北海道農林土木 コンサルタント株式会社	千葉 和夫
8		小林 直樹	30		櫻下 史宜	53	松谷建設株式会社	阿部島啓人
9		白戸 敦	31		熊谷 元	54	明治コンサルタント 株式会社	有賀 誠
10		班目 悠希	32		稲田 行道	55		藤原 直
11	空知総合振興局 産業振興部林務	杉山 公	33		川越 良祐	56		坂 篤紀
12	會澤高圧コンクリート 株式会社	小林 将馬	34		行澤 陸	57	野外科学株式会社	田中 努
13		前田 克史	35	タカ企画株式会社	高貝 直樹	58		飯沼 弘一
14	株式会社エジソンブレイン	奈良 哲男	36		本永 和則	59		大瀧 達郎
15		渡邊 拓也	37	日特建設株式会社	淵田 晋	60		桑原 郁美
16		曹路地琴乃	38	株式会社不動テトラ 北海道支店	沼田 昭則	61		吉川 諒
17	HRS株式会社	綿貫 乃愛	39	防災地質工業株式会社	安田 伸生	62	和光技研株式会社	宮本 大
18		境井 雅章	40		熊谷 操	63		小岩 晃
19		皆川 恭範	41		今川 亮司	64		北島 雅弘
20		西條 竜碧	42	株式会社北海道技術 コンサルタント	中山 仁			
21	株式会社エコテック	坂元 直人	43		渡辺 恵三			
22		田宮 敏	44		松屋勇一郎			
23		斉藤 卓見	45		千葉 悠子			

「魚道を清掃しないためにはどうする？」

ワークショップ報告 株式会社北海道技術コンサルタント

千葉 悠子

道央地区魚道清掃ボランティア活動内で、「魚道を清掃しないためにはどうする？」をテーマにワークショップを行いました。

開催日時

令和5年7月23日(日)10:30~11:30

場所

盤溪川2号落差工



ワークショップの様子

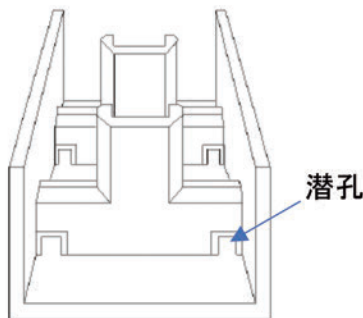
1. 魚が遡上できない現状、問題点

- 魚道に入る水量が少ない
- 魚道の構造上の問題(高さ、幅、潜孔)
- 土砂
- みお筋が魚道に向かっていない(主流が別の方向)

部分越流型
(アイスバーバー型)

階段式魚道の一形式であり、隔壁の一部を水上に突出させて非越流部を設けたものである。

隔壁に、潜孔が設けられることが多い。



(「北海道河川事業設計要領」第2編 第8章 魚道工 p2-8-4)

2. 改善案

① 手作業でできること

- 土砂を移動させる(みお筋を変えて、主流を魚道側に)*ダムアップ
 - 潜孔を塞ぎ、プール内の水深を確保する。
- 「仮設」や「試験施工」という位置付けで行う。

② 根本的な魚道の改良

- 潜孔を塞ぎ、プール内の水深を確保する。
- 上流側の隔壁の片側を塞ぎ、反対側の水深を確保する。
- 呑口の河床が掘れているため、呑口の切欠きを下げ、水が入りやすいようにする。



今回は、魚道側に水が入るようにみんなで土砂を移動させてみました。

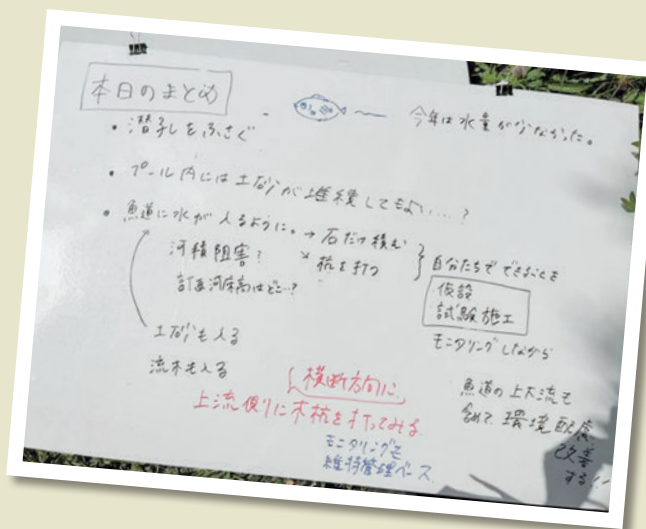


3. 今後に向けて

魚道に水が入るようになると、流木も入る、土砂も入るようになる。そのバランスを考えることが大事。

対策

- 上流側に木杭を設置し、流木を捕捉する。
- 木杭の設置により、土砂の堆積状況も変化することが考えられるため、モニタリングを行う。
- 木杭の場所は、補足した流木除去のため、維持管理しやすいようアクセスしやすい場所、メンテナンスしやすい場所を選定する。



意見交換会の様子



お疲れ様でした！



川童(かわガキ)育成! 川の生き物勉強会を開催しました

令和5年8月6日(日)午後9時50分から、
函館市川汲公園で川の生き物勉強会が開催され、
親子で川の生き物について学びました。

AM 9:50 集合、開会のあいさつ

函館市川汲公園に集まった参加者たちは、保護者29名、子どもたち26名の総勢55名。奈良理事長から開会のあいさつがあった後、渡邊事務局からライフジャケットを着用することや裸足で川の中に入らないなど、川遊びのきまりについて説明がありました。



あいさつを聞く参加者たち

AM 10:00

川のなかには、どんな生き物がいるの??

川のなかにどんな生物がいるのか、配布した資料なども使いながら、米谷さんと大浜さんが解説。みんな熱心に聞いていたよ。



川童(かわガキ)育成! 川の生き物勉強会

日時
令和5年(2023)8月6日(日曜)
午前9時50分~昼12時30分

場所
函館市川汲公園(旧南茅部町)

参加料: 無 料
保護者同伴。対象: 小学校1年生~大人

【プログラム】
9:50 はじめのあいさつ
川遊びの「きまり」
10:00 川の中には どんな生き物がいるの??
10:30 さがしてみよう、つかまえてみよう!!
11:30 さき舟で競争だ!(景品あり)
12:30 おわりのあいさつ

※川の中を歩くため、靴は禁止!
かかとベルトの付いたサンダルや、ぬれてもいいスニーカー、
長靴など、各自用意をお願いします。

主催: NPO法人 北海道魚道研究会
参加申し込みは、裏面用紙に記入のうえFAXをお願いします。
※必ず!連絡先を記入してください。
(連絡先の記入が無い場合、荒天などによる突然の中止連絡が出来ませんのでご注意ください)

案内チラシ



どんな川魚がいるのかな



ヤマメ：バーマークがあるのが特徴



イワナ：白い斑点があるのが特徴



ニジマス：ヤマメに似ているが尾びれや背びれに黒い斑点があるのが特徴



サクラマス：海に下がり生活したヤマメをサクラマスと言う。産卵時期になると写真のように赤い横線がでてくる。



アメマス：海に下がり生活したイワナを一般にアメマスと言う。



スチールヘッド：海に下がり生活したニジマスをスチールヘッドと言う。



川の中にある虫たち

カゲロウ

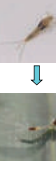
マダラカゲロウ



ヒラタカゲロウ



コカゲロウ

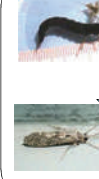


モンカゲロウ



トビケラ

ヒゲナガトビケラ



せいかつばし生活場所 石の裏



カワゲラ

ヒメカワゲラ



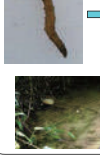
ヘビトンボ

せいかつばし生活場所 石の裏



ガガンボ

せいかつばし生活場所 水が流れていないところ



AM 10:30

さがしてみよう つかまえてみよう!!

川のなかの生き物を勉強した後は、実際に川に入って生き物をさがして、つかまえてみる実践編！
生き物がいる場所をさがして、川の水をすくって生き物をつかまえてみたよ！



AM 11:30 ささ舟で競争だ！

次は、ささで作った小さな舟を川に浮かべて、スタート地点からゴール地点までのタイム競争！ ささ舟をもらって、さぁスタートだ！



AM 11:45 ○×クイズ

ささ舟競争の結果集計を待つ間は、川に関する○×クイズにこたえたよ。みんなでじゃんけん大会もやりました！



PM 0:10 ささ舟競争結果発表

ささ舟競争の結果発表！ 勝利者インタビューとプレゼントが渡されました。



PM 0:40 おわりのあいさつ

これで、川の生き物勉強会は終了です。最後に戸沼副理事長から、おわりのあいさつをして、閉会しました。

PM 0:30 魚たちとのおわかれです

最後は、つかまえた魚たちとのおわかれのセレモニー。お魚たちを静かに川に返します。



参加者の皆さんには魚道も見学してもらいました



道南地区魚道清掃ボランティアを実施しました

令和5年9月9日(土)、
第16回道南地区魚道清掃ボランティアを実施し、
函館市川汲川治山堰堤3・4号の魚道2基の清掃を行いました。

NPO法人 北海道魚道研究会
会員および関係者 各位

令和5年8月8日
特定非営利活動法人
北海道魚道研究会
理事長 奈良智男

魚道清掃ボランティア活動の開催について

錦いづれの降り注ぐ夏の盛りとなりました。
平素は格別のご指導、ご協力に賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当会では新型コロナウイルス対策もあり4年ぶりに道南地区における第16回道南地区魚道清掃ボランティアを下記の通り実施いたします。
当会の趣旨をご理解頂き、参加へのご検討をお願い致します。

記

日 時：令和5年9月9日(土曜日) 9:30集合 12:30作業終了
※少雨決行
尚、荒天などによる中止の場合は前日にお知らせします。

集合場所：函館市川汲公園駐車場

清掃箇所：川汲川の治山堰堤付き魚道2基を予定しています
清掃場所に関する資料は当日受付の際にお渡し致します。

持ちもの：雨付き、スコップ、手袋

参加申込み：所属と氏名をお知らせください

Google フォーム：https://forms.gle/CS957ghAAUPwLwq16
Mail：gyodo-uketuke@edisonbrain.jp
FAX：0138-83-1162

QRコード：



その他：作業時の水分補給のための水、作業後のお弁当お茶は、当会で用意致します。

参加申込み期限は9月1日金曜日

【問い合わせ先】株式会社エジソンブレイン内
〒041-0804 函館市赤川町522番地22
Tel：0138-83-1172
Mail：gyodo-jimu@edisonbrain.jp
事務局 渡邊拓也

NPO法人 北海道魚道研究会

川汲川 魚道清掃ボランティア活動のご案内

暑中お見舞い申し上げます。皆様におかれましてはご活躍のこととお慶び申し上げます。
さて、下記の通り、道南地区で16回目の魚道清掃ボランティアを開催いたします。ご多用とは存じますが、ぜひ、ご参加下さいませ。

◆日 時：令和5年9月9日(土)
9時30分集合
終了予定 12時30分

※少雨決行
尚、中止の場合、前日にお知らせします
参加者代表者は携帯番号を必ず記載



◆清掃場所：川汲川 治山堰堤魚道

◆集合場所：函館市川汲公園駐車場

◆持ちもの：ウェーダー（胴付）
スコップ、軍手

◆昼食とお茶（ペットボトル）は当会で用意し、食事後解散します。

参加申込み：所属と氏名をお知らせください

Google フォーム：https://forms.gle/CS957ghAAUPwLwq16
Mail：gyodo-uketuke@edisonbrain.jp
FAX：0138-83-1162

QRコード：



参加申し込み期限は9月1日金曜日

【問い合わせ先】株式会社エジソンブレイン内
〒041-0804 函館市赤川町522番地22
Tel：0138-83-1172
Mail：gyodo-jimu@edisonbrain.jp
事務局 渡邊拓也

道南地区魚道清掃ボランティアの参加募集（左）と当日の案内文

雨のなか、2基の魚道工を清掃

午前9時に函館市川汲公園駐車場に集まった参加者は66名。作業開始の時間から、雨が降ったりやんだりの天候となりましたが、滑る足元に注意を促し、事故や怪我のないように十分注意をしながら、清掃活動を実施しました。

第3号堰堤魚道工は土砂と倒木で魚道折り返し部分が閉塞しており、上流からの水流を確保できる程度まで、倒木の撤去と土砂の排除を行いました。

第4号堰堤魚道工は流水の入口部分が閉塞気味で河川水の流入量が少ない状況だったため、

入口部分の土砂排除と流木を利用した簡易の水制工を設置し、土砂が埋そくしない処置を施しました。





(左から) 山崎東部森林室長／閉会時の挨拶をする戸沼副理事長／
宇野林務課主幹、山本西部森林室長、山崎東部森林室長、奈良理事長



第3号魚道工とその周辺の清掃



第3号魚道
Before (左) ⇒ After (右)



第4号魚道工とその周辺の清掃



第4号水制工の完成



●第16回道南地区魚道清掃ボランティア参加者

No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名
1	渡島総合振興局林務課	宇野 雅己	23	株式会社エジソンブレイン	新保 博光	45	會澤高圧コンクリート株式会社	木嶋 律忠
2		宇佐美 準	24		米谷 信一	46		安住 尚之
3		和田 裕章	25		渡邊 達仁	47	株式会社ノース技研	布村 重樹
4		大瀨 一夫	26		阿部 正彦	48		渡辺 潤
5		松浦 敬明	27	北栄測量設計株式会社	平澤 瑠叶	49		山崎 佑磨
6		山崎 斐夕	28		滝本 正浩	50	株式会社林組	西村 亮太
7		下山 大侑	29	株式会社東鵬開発	小澤 光二	51		伊藤 公彦
8		川崎 主税	30		中瀬 哲也	52	株式会社相互建設	中澤 達郎
9	渡島総合振興局東部森林室	山崎 康裕	31	VILLAGE&CO	中村 喜憲	53		鈴木 一史
10		坪田 康士	32		中村 喜一	54	東陽建設株式会社	川内 康次
11		馬田 聖也	33	近藤建設株式会社	山田 晋市	55		加藤 清
12		加賀田大翔	34	日本緑化中村株式会社(函館)	市川 淳一	56	中塚建設株式会社	久次米正太
13	渡島総合振興局西部森林室	山本 孝司	35	戸沼岩崎建設株式会社	戸沼 淳	57		山形 雅之
14		田代 武司	36		梅木 克美	58		日下部幸男
15		山下 恭貴	37	株式会社高木組	加藤 洋人	59		中塚 卓朗
16		藤原 悠斗	38		村屋 優	60	三好建設工業株式会社	中塚俊太郎
17	株式会社エジソンブレイン	尾北 陸	39		関本 友輔	61		中塚隆太郎
18		奈良 哲男	40	株式会社森川組	大竹 勝幸	62		星井 摂郎
19		渡邊 拓也	41		佐藤 文哉	63		上田 忍
20		松本 美穂	42	丸協土建株式会社	若山 忍	64		小田 司
21		曹路地琴乃	43		築田 薫	65		佐藤 清美
22		鍵 将悟	44		浅間 浩志	66		三好 博己

NPO法人 北海道魚道研究会 会員名簿

令和5年9月30日現在

法人会員 80 法人

(順不同)

法人名	住所
戸沼岩崎建設(株)	函館市湯川町 2 丁目 21 番 2 号
渡辺建設(株)	函館市鍛冶 1 丁目 5 番 8 号
三好建設工業(株)	函館市川上町 563 番地
中塚建設(株)	松前郡福島町字三岳 73 番地の 1
(株)東鵬開発	函館市桔梗 1 丁目 4 番 17 号
丸協土建(株)	上磯郡木古内町字新道 107-7
(株)北海道森林土木コンサルタント 函館事務所	函館市深堀町 2 番 3 号
(株)エジソンブレイン	函館市赤川町 522 番地 22
松本建設(株)	久遠郡せたな町北檜山区北檜山 258 番地
能登谷建設(株)	檜山郡厚沢部町本町 108 番地
(株)小林建設	檜山郡上ノ国町字大留 151
北工建設(株)	久遠郡せたな町北檜山区豊岡 114-7
齊藤建設(株)	函館市田家町 15 番 12 号
(株)森川組	函館市海岸町 9 番 23 号
(株)ノース技研	函館市昭和 3 丁目 23 番 1 号
(株)森林テクニクス 札幌支店	札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 4-1 サン経成ビル 8F
(株)カイト	檜山郡上ノ国町字大留 122 番地
(株)菅原組	函館市浅野町 4 番 16 号
(株)サッポロ・エンジニアーズ	札幌市中央区南 7 条西 2 丁目
(株)海老原建設	函館市湯川町 1 丁目 17 番 12 号
(株)相互建設	亀田郡七飯町字桜町 35 番地
(株)高木組	函館市東雲町 19 番 13 号
北栄測量設計(株)	函館市深堀町 11 番 21 号
(株)北海道技術コンサルタント	札幌市東区苗穂町 4 丁目 2-8
横関建設工業(株)	虻田郡倶知安町南 1 条西 1-15
(株)松本組	函館市吉川町 4 番 30 号
(株)高橋建設	檜山郡厚沢部町新町 193
北王コンサルタント(株) 札幌支社	札幌市中央区北 10 条西 20 丁目 2-1
(株)イズム・グリーン	旭川市東 6 条 4 丁目 1-18
(株)メイセイ・エンジニアリング 札幌支店	札幌市東区北 11 条東 3 丁目 3-12 クボタビル 3F
HRS (株)	小樽市勝納町 8-39
東陽建設(株)	二世郡八雲町栄町 13-2
岸本産業(株)	石狩市浜益区柏木 87
(株)ズコーシャ 札幌支店	札幌市白石区南郷通 2 丁目南 11 番 9 号
(株)エコテック	札幌市中央区北 3 条西 2 丁目 1-28 カミヤマビル
正栄建設(株)	函館市昭和 2 丁目 31-10
防災地質工業(株)	札幌市北区新琴似 7 条 15 丁目 6-22
野外科学(株)	札幌市東区苗穂町 12 丁目 2-39
日本緑化中村(株)	樺戸郡新十津川町字弥生 7 番 23
(株)日興ジオテック	旭川市神居 2 条 18 丁目 2-12
(株)ルーラルエンジニア	札幌市北区北 10 条西 3 丁目 NK エルムビル

※は賛助会員

法 人 名	住 所
山洋建設(株)	標津郡中標津町東 21 条南 6 丁目 17
寺井建設(株)	野付郡別海町別海 130 番地の 18
高玉建設工業(株)	野付郡別海町別海常盤町 5 番地
鈴木産業(株)	目梨郡羅臼町栄町 100
小針土建(株)	標津郡中標津町緑町南 2 丁目 1 番地 1
松谷建設(株)	北見市留辺蘂町旭北 41 番地
(株)ケイジー技研	札幌市中央区南 3 条西 13 丁目 320
中村興業(株)	標津郡中標津町東 32 条北 1 丁目 2 番地
北海道キング設計(株)	札幌市南区澄川 2 条 1 丁目 4 番 11 号
(株)菅原組	磯谷郡蘭越町昆布町 134-48
藤信建設(株)	虻田郡倶知安町北 1 条西 2 丁目 15 番地
幌村建設(株)	日高郡新ひだか町三石蓬栄 126
小川建設(株)	目梨郡羅臼町湯の沢町 12 番地 45
(株)シン技術コンサル	札幌市白石区栄通 2 丁目 8 番 30 号
近藤建設(株)	函館市神山 3 丁目 58 番 21 号
(株)東亜エンジニアリング 函館支店	函館市青柳町 15 番 19 号
国土防災技術北海道(株)	札幌市中央区北 3 条東 3 丁目 1-30
丹羽建設(株)	枝幸郡浜頓別町大通 8 丁目 20 番地
明治コンサルタント(株)	札幌市中央区南 7 条西 1 丁目 第 3 弘安ビル
(株)開発調査研究所	札幌市豊平区月寒東 4 条 10 丁目 7-1
(株)工藤組	函館市石川町 169 番地 7
(株)アイネス	札幌市中央区南 2 条東 2 丁目 7-1 第三 NED ビル
北王プラフォーム(株)	札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11
共和コンクリート工業(株) 函館支店	函館市五稜郭町 1 番 14 号 五稜郭 114 ビル
(一社)北海道森林土木建設業協会 ※	札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1-1 ニュー札幌ビル 4 階
タカ企画(株)	小樽市銭函 3 丁目 23 番地 174
和光技研(株) ※	札幌市西区琴似 3 条 7 丁目 5 番 22 号
共和コンサルタント(株)	札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11
(一社)北海道治山林道協会 ※	札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 1 番地 水産ビル内
新栄コンサルタント(株)	旭川市神楽 5 条 10 丁目 1 番 29 号
北海道農林土木コンサルタント(株)	札幌市東区北 24 条東 3 丁目 3 番 10 号
會澤高圧コンクリート(株)	札幌市東区苗穂町 12 丁目 1-1
吉建設(株)	茅部郡鹿部町字鹿部 45 番地
(株)不動テトラ 北海道支店	札幌市中央区北 1 条西 7 丁目 3 北 1 条大和田ビル
日特建設(株) 札幌支店	札幌市厚別区大谷地東 4 丁目 2 番 20 号
(株)林組	爾志郡乙部町字緑町 243-2
(株)ビバリー設計事務所 ※	札幌市白石区東札幌 4 条 6 丁目 4 番 12 号
札幌マテリアル(株) ※	札幌市豊平区月寒西 1 条 9 丁目 1-1-101
アークジョイン(株)	函館市西桔梗町 589 番地 44

■ 個人会員 21 名 (名簿省略)

11 /
随時受付中

当会では、会員を募集しています！

NPO 法人 北海道魚道研究会では、「正会員」として、一緒に活動・運営をしていただける個人、法人（団体）、または「賛助会員」として当会活動をご支援いただける個人、法人（団体）を随時募集しております。

	正会員	賛助会員
会員制度	総会での議決権を持ち、NPO 運営活動に直接的にご参加いただけます。 会報誌：年 2 回 1 冊 / 回：個人 5 冊 / 回：法人 魚道データベースシステム： フル利用（現在整備中）	会報誌及びセミナー・イベント等のご案内を優先的にご送付いたします。 会報誌：年 2 回 1 冊 / 回：個人 1 冊 / 回：法人 魚道データベースシステム： 限定利用（現在整備中）
個人	入会金：5,000 円 / 1 口 年会費：5,000 円	入会金：3,000 円 / 1 口 年会費：3,000 円
法人（団体）	入会金：30,000 円 / 1 口 年会費：30,000 円	入会金：10,000 円 / 1 口 年会費：10,000 円

入会をご希望の方は入会申込書をお送りいたします。

事務局 **TEL 0138-83-1172**（株式会社エジソンブレイン内）

または、**E-mail gyodo-jimu@edisonbrain.jp** までご連絡ください。

昨年の
現地魚道見学会
サンルダム周辺の魚道
（下川ベンケ川魚道）



北海道魚道研究会
ホームページ